



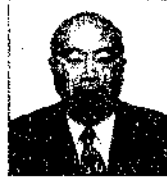
# 環境と共生

第1号

平成12年1月17日発行  
発行：環境21世紀の会  
編集：事務局 有村義雄  
住所：〒277-0042 柏市連井40-89  
電話：0471-74-2135 FAX：0471-75-7360

一人でも  
多くの人を  
入会せよ

## 誰もが住みよい 環境と共生の まちづくりを



環境21世紀の会  
会長 三上隆司

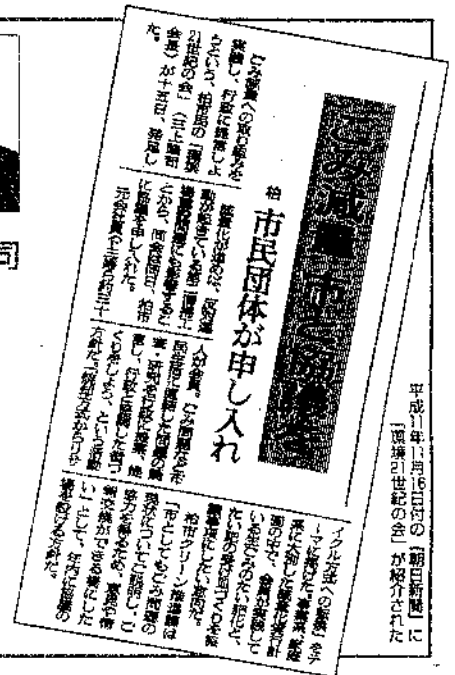
21世紀は、少子高齢社会、国際化社会、超情報社会など、日本の社会に劇的な変革をもたらすことは必至です。こうした社会の変革はいずれも環境問題と切り離して考えることはできません。

18世紀の産業革命以降、世界の経済や人口は拡大・膨張し続け、私たちはこれを是認してきたような気がします。ダイオキシンをはじめとした環境ホルモンやCO<sub>2</sub>排出規制と地球温暖化等の問題は、従来の延長線

上での成長・発展のあり方を改めて問い直す必要に迫られているといえます。

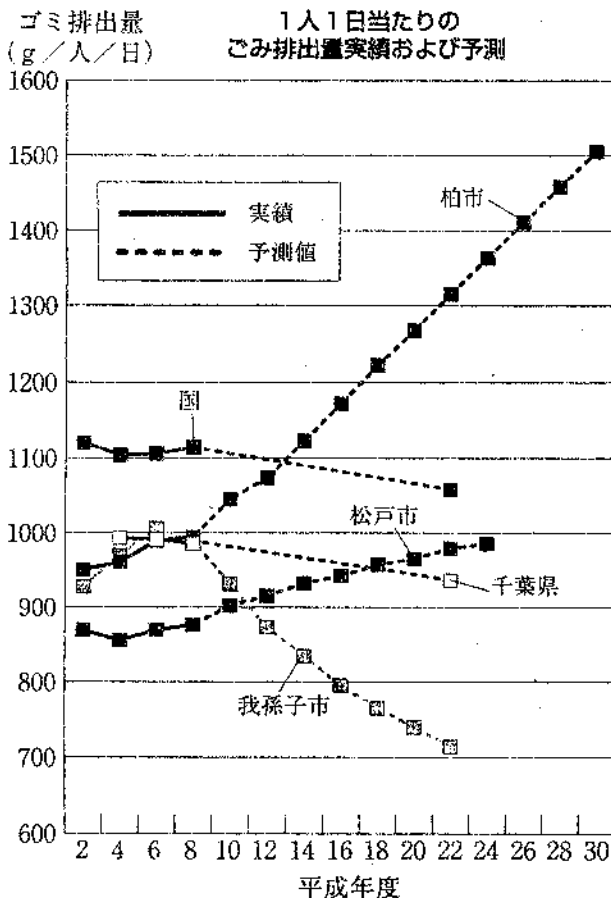
「環境21世紀の会」はこうした視点に立って循環型社会の構築、地域環境と共生を図りつつ、誰もが住みよいまちづくりに寄与していきたいと思ひます。

当面の課題として、ごみ問題を中心に市当局に提言していきます。どうかこの趣旨をご理解いただき、ご指導ご鞭撻のほどをお願いします。



なぜ柏市だけが  
1,500gなの!?

### 異常(?)な柏市の排出計画量



柏市は平成30年では1,505 g (1人1日)を予測している。この数字は、平成4年頃のバブル時期の東京23区内の数量である。

隣の松戸市は50万人の人口に対して、500t (1日)の焼却設備で乗り切る計画である。

一方、柏市の人口は32万人に對

し、300t (1日)の清掃工場設備がある。将来の1人1日当たりのごみ排出量増と将来37万人強の人口に対して、300t (1日)増設し、最終的に600t (1日)の清掃工場設備を目標にしている。松戸市並みであれば70t (1日)増で十分である。国の施策に従い、ごみ減量化を推進していけば増設は必要ないかもしれない。

これは税金の無駄使いではないか。

●ごみの排出量—松戸市は漸増目標、我孫子市は削減目標。なぜか柏市は右肩上がり?

●早く廃棄物の焼却方式から脱却し、リサイクル化を強力に推進すべきだ。

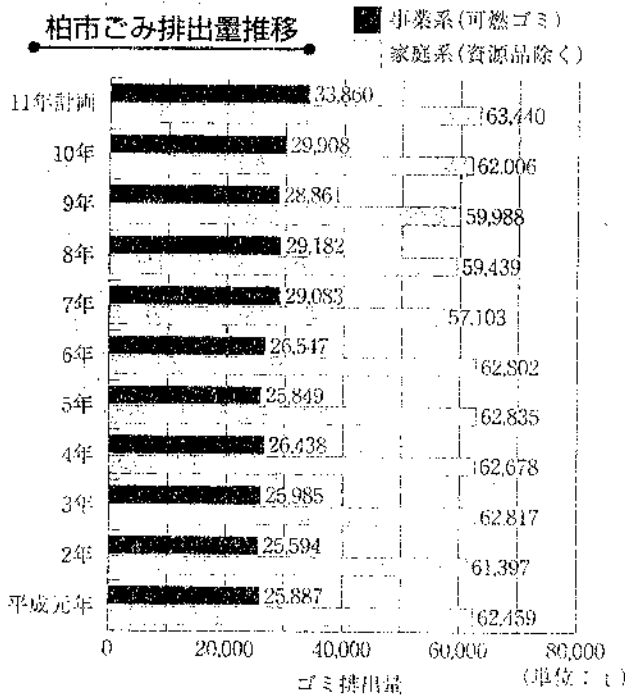
### 柏市との 定期協議スタート

環境21世紀の会が発足し、早速ごみ減量について昨年12月9日に柏市との第1回の定期協議が市役所で開催された。まず、三上会長より「誰もが住みよい環境と共生のまちづくりを目的として、当面はごみ減量化をテーマに市側に具体的に提案していきたい」という主旨のあいさつがあった。

環境部の会澤クリーン推進課長から、「清掃工場の能力が不足しており、ぎりぎりのところで焼却をしている。1人1日当たり、100g減量化を市民に呼びかけている」という話があった。また、市長が昨年の12月市議会で「ごみ減量のシンポジウム」の開催を表明したという説明を受けた。当会としても、かねがねシンポジウムの開催を考えていたので、市に申し入れ、本年3月20日(祝日)に実施することにした。(詳細は裏面) (祖父江)

# ● 柏市のごみ排出量の現状 ●

## 柏市ごみ排出量推移



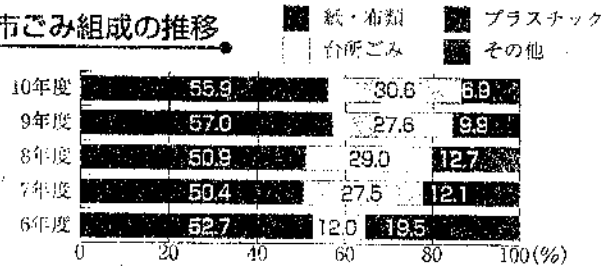
- 平成7年以降、家庭系、事業系ともごみが増えている。
- 事業系ごみは全体の1/3を占めている。ベッドタウン都市としては多すぎるのでは？
- 市政と行政が協力して真剣にごみ減量化に取り組むべきである。

## ◆ 柏市内 ◆ ごみ減量シンポジウムの開催

資源循環型社会の構築とごみ減量化は、市民と行政の共通課題です。それぞれの役割、問題点を考えるため、多数の方の参加をお待ちしています。

- 日時：3月20日(祝日) 13:00~15:00
  - 場所：増尾近隣センター(入場無料)
  - テーマ：「資源循環型社会を目指して—ごみ減量化への道—」
  - 内容：
    - 基調講演
      - 「柏市のごみの現状(仮題)」  
植屋勝嘉(柏市環境部長)
      - 「廃棄物焼却方式から脱却—ごみ減量化への提言—」  
鹿毛剛(環境21世紀の会副会長)
    - パネルディスカッション  
「ごみの減量化について」  
パネラー(敬称略)：  
植屋勝嘉(柏市環境部長)  
長田彰(NEC我孫子環境管理部長)  
坂倉俊雅(柏・生ゴミ堆肥化の会事務局長)  
鹿毛剛(環境21世紀の会副会長)  
コーディネーター：  
森下研(エコマネジメント研究所代表)
- 主催：環境21世紀の会

## 柏市ごみ組成の推移



- ごみの中では紙・布類が50%以上を占めている。
- 紙には約8%の不燃物が含まれており、焼却灰として残る。最終埋め立て処分場は満杯である。
- 新聞・雑誌はもちろん、雑紙を含めてリサイクルを進めるべきだ。

## ● ごみ減量・脱焼却は国策に！ ●

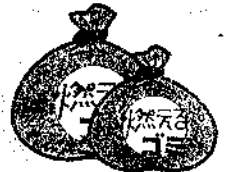
国の減量化目標の設定は

- ① H8年度を起点にして、H22年度に(H17年度見直し)目標を達成する。
- ② その間、人口増1.5%、実質国内総生産2%/年増

- 排出量5%削減
- リサイクル量の増加(食品廃棄物のたい肥化)
- 焼却量15%削減
- 最終処分量を半分に削減

政府、省の取り組みは

- ①ダイオキシン対策関係閣僚会議(H11.9.28)  
循環型社会形成を目指す  
・廃棄物焼却方式から脱却、リサイクルの推進  
・減量化目標の設定
- ②厚生省：容器包装リサイクル法(H12年4月)
- ③通産省：家電リサイクル法(H13年4月より)
- ④農水省：食品廃棄物の減量化とリサイクルの推進(通常国会で法制化)
- ⑤建設省：建設廃棄物ガイドライン



## 環境21世紀の会 入会案内

- \*会費は年会費1,000円です。会員には会報等を送付します。
- \*入会される方は最寄りの郵便局でお振込み下さい。
- \*口座名義：「環境21世紀の会・会計今宮キミ」  
郵便振替口座番号：10570-57715211

〈役員〉

会長：三上隆司 副会長：鹿毛剛 事務局長：有村親誠

## 編集後記

▶「環境と共生」第1号をお届けします。環境21世紀の会は、まだ生まれたばかりの子供たちです。幅広い市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

▶1人1日当たりのごみ排出量の実績と予測について、国、千葉県、他市とを比較したところ、その差がよく分かりました。その他の項目についても、今後比較していきたいと思えます。

▶今回は、「柏市のごみの現状」についてご紹介しましたが、次号は「ごみ減量シンポジウム」と「ごみ減量化の方向性」について特集を組みたいと思えます。ご意見、ご寄稿をお願いします。(T.K.)